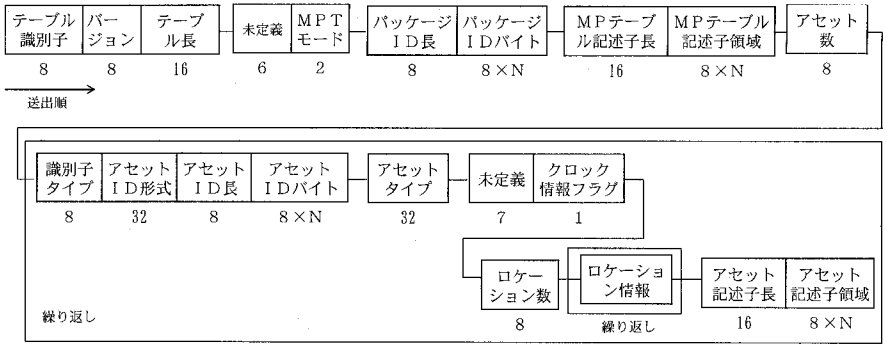
別記　ＭＰテーブル



注１　テーブル識別子の値は、本ＭＰテーブルが完全なＭＰテーブルであれば0x20とし、一つのパッケージの構成が、いくつかのＭＰテーブルにより記述されるときは、サブセット０からサブセット14に応じて0x11から0x1Fまでとする。

２　バージョンは、テーブルのバージョン番号を書き込む領域とする。

３　テーブル長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

４　ＭＰＴモードは、ＭＰテーブルがサブセットに分割されているときの動作を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
‘00’	サブセットの順番どおりに処理する。
‘01’	サブセット０のＭＰテーブルを受信後は、同一のバージョンを持つ任意のサブセットを処理する。
‘10’	サブセットのＭＰテーブルを任意に処理できる。
‘11’	未定義

５　パッケージＩＤ長は、パッケージＩＤバイトのデータバイト数を書き込む領域とする。

６　パッケージＩＤバイトは、パッケージＩＤを示すものとする。

７　ＭＰテーブル記述子長は、ＭＰテーブル記述子領域のデータバイト数を書き込む領域とする。

８　ＭＰテーブル記述子領域は、ＭＰテーブルの記述子を格納する領域とする。

９　アセット数は、本テーブル情報を与えるアセットの数を書き込む領域とする。

10　識別子タイプの値は、ＭＭＴＰパケットフローのＩＤ体系のうちアセットＩＤを示す0x00とする。

11　アセットＩＤ形式は、映像、音声、データなどの番組要素信号を識別するために使用する領域とする。

12　アセットＩＤ長は、アセットＩＤバイトのデータバイト数を書き込む領域とする。

13　アセットＩＤバイトは、アセットＩＤを示すものとする。

14　アセットタイプは、アセットの種類を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

符号	割当て
hvc1	ＩＴＵ―Ｔ勧告Ｈ.265で規定されるＨＥＶＣ映像ストリーム
mp4a	ＩＳＯ／ＩＥＣ14496―３で定義される音声ストリーム

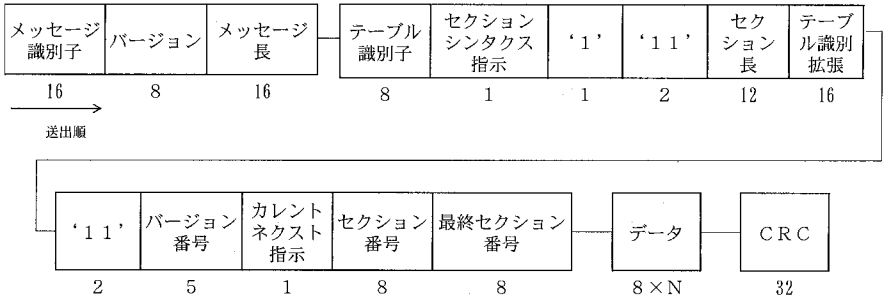
15　クロック情報フラグは、クロック情報識別フィールド及びタイムスケールフラグフィールドが存在する場合は‘１’、存在しない場合は‘０’とする。

16　ロケーション数は、アセットのロケーション情報の数を示すものとする。

17　アセット記述子長は、アセット記述子領域の大きさのデータバイト数を書き込む領域とする。

18　アセット記述子領域は、アセット情報を示す記述子を格納する領域とする。

別表第二十八号　Ｍ２セクションメッセージの構成



注１　メッセージ識別子の値は、Ｍ２セクションメッセージを示す0x8000とする。

２　バージョンは、Ｍ２セクションメッセージのバージョン番号を書き込む領域とする。

３　メッセージ長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

４　テーブル識別子は、セクションが属するテーブルの識別のために使用する領域とする。

５　セクションシンタクス指示の値は、別表第五に示すセクション形式のうち拡張形式を示す‘１’とする。

６　セクション長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

７　バージョン番号は、テーブルのバージョン番号を書き込む領域とする。

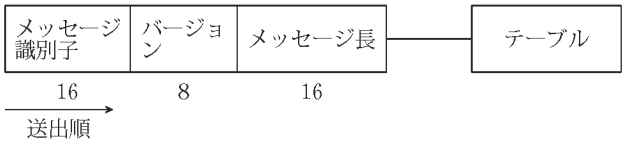
８　カレントネクスト指示は、テーブルが現在使用不可能であり次に有効となることを示す場合は‘０’とし、テーブルが現在使用可能である場合は、‘１’とする。

９　セクション番号は、テーブルを構成するセクション番号を書き込む領域とする。

10　最終セクション番号は、テーブルを構成する最終セクション番号を書き込む領域とする。

11　ＣＲＣは、ＩＴＵ―Ｔ勧告Ｈ.222.0に従うものとする。

別表第二十九号　ＣＡメッセージの構成



注１　メッセージ識別子の値は、ＣＡメッセージを示す0x8001とする。

２　テーブルは、制御情報を示すものとし、別記に示すものとする。